

Jer

Chapter 6

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

שׁוֹפָר תִּקְעוּ וּבְתוֹעַ יְרוּשָׁלַם מִקְרָב בְּנִימֹן בְּנֵי אֲהֵזוּ 1
角笛を 吹き鳴らせ そして-テコアで エルサレムの 中から ベニヤミンの 子らよ 避難せよ
[H7782](#) [H8628](#) [H8620](#) [H3389](#) [H7130](#) [H1144](#) [H5756](#)

מִצָּפוֹן נִשְׁקָפָה רָעָה כִּי מִשָּׂאת שָׂאוּ הַקָּרָם בַּיִת וְעַל-
北から 迫って-来る わざわいが なぜなら 合図の-火を 掲げよ ベト-ハケレムに そして
[H6828](#) [H8259](#) [H4864](#) [H5375](#) [H1021](#)

גָּדוֹל: וְשָׂרָה
大きな そして-破滅が
[H7667](#)

ベニヤミンの人々よ、エルサレムの中から避難せよ。テコアでラッパを吹き、ベテハケレムに合図の火をあげよ。北から災が臨み、大いなる滅びが来るからである。

צִיּוֹן: בַּת- דְּמִיתִי וְהַמְעַנְנָה הַנְּנוּהָ 2
シオンの 娘を 滅ぼした そして-優雅な 美しい
[H6726](#) [H1323](#) [H1820](#) [H6026](#) [H5000](#)

わたしは美しい、たおやかなシオンの娘を滅ぼす。

סְבִיב אַהֲלִים עָלֶיהָ תִּקְעוּ וְעַדְרֵיהֶם רְעִים יָבֹאוּ אֵלֶיהָ 3
四方に 天幕を その-周りに 張った そして-その-群れを-率いて 羊飼いたちが 来る その-もとに
[H5439](#) [H0168](#) [H8628](#) [H5739](#) [H0935](#) [H0413](#)

יָרוּ: אֶת- אִישׁ רָעוּ 4
その-側で を 各自 草を-食べ尽くした
[H3027](#) [H0853](#) [H0376](#)

牧者たちは、その群れをひきいて来て、彼女を攻め、彼女の周囲に天幕を張る。群れはおのおのその所で草を食う。

כִּי- לָנוּ אֹיִ בְּצַהְרֵים וְנַעֲלָה קוּמוּ מִלְחָמָה עָלֶיהָ קְדִישׁוּ 4
なぜなら 我々に ああ 真昼に そして-攻め上ろう 立て 戦いを それに-対して 準備せよ
[H0188](#) [H5927](#) [H4421](#) [H6942](#)

עָרַב: צִלְלֵי- יִנָּטוּ כִּי הַיּוֹם פָּנָה 5
夕暮れの 影が 伸びていく なぜなら 日が 傾いた
[H6153](#) [H6752](#) [H5186](#) [H3117](#) [H6437](#)

「戦いを始め、彼女を攻めよ。立て、われわれは真昼に攻撃しよう」。「わざわざいなるかな、日ははや傾き、夕日の影は長くなった」。

וְקוּמוּ אֶרְמְנוֹתֶיהָ: וְנִשְׁחִיתָהּ בַּלַּיְלָה וְנַעֲלָה קוּמוּ 5
- その-宮殿を そして-滅ぼそう 夜に そして-攻め上ろう 立て
[H0759](#) [H7843](#) [H3915](#) [H5927](#)

「立て、われわれは夜の間に攻撃しよう、そして彼女のもろもろの宮殿を破壊しよう」。

6
 יְרוּשָׁלַם ְעַל- וְשָׁפְכוּ עֵצָה כָּרְתוּ צְבָאוֹת יְהוָה אָמַר כֹּה כִי
 エルサレムに に-向けて そして-築け 木を 切り倒せ 万軍の 主は 言われた こう まことに
[H3389](#) [H8210](#) [H6097](#) [H3772](#) [H3068](#) [H0559](#) [H3541](#)

סִלְלָה הָיָא הָעִיר הַפְּקֹד כָּלָה עָשָׂק בְּקִרְבָּהּ:
 その-中に 虐げだ その-すべては 罰せられるべき 町だ それは 塔を
[H7130](#) [H6233](#) [H3605](#) [H8085](#) [H1931](#) [H5550](#)

万軍の主はこう言われる、「あなたがたは彼女の木を切り倒し、エルサレムにむかって壘を築け。これは罰すべき町である、そのうちにはただ圧制だけがある。

7
 כְּהַקִּיר [בוּר] (בֵּיר) מִיַּמֶּיהָ כֵּן הִקְרָה רָעָתָהּ חָמָס
 湧き出ず-ように 井戸が 一 湧き出した そのように その-水を 井戸が 一 湧き出した
[H4325](#) [H0953](#) [H2555](#)

וְשָׁד וְשָׁמַע בָּהּ עַל- פָּנַי תָּמִיד חָלִי וּמַכָּה:
 そして-破壊が 聞こえる その-中に に-向けて その-前に 常に 病と 傷が
[H8085](#) [H7701](#) [H4347](#) [H2483](#) [H8548](#) [H6440](#)

井戸に新しい水がわくように彼女はその悪を常にあらたに流す。そのうちには暴虐と破滅とが聞こえる。わたしの前に病と傷とが絶えない。

8
 הַתּוֹסְרֵי יְרוּשָׁלַם פֶּן מִנְּךָ נַפְשִׁי תִקַּע פֶּן אֲשִׁימְךָ
 戒めを-受けよ エルサレムよ さもなければ 離れる わが-魂が 離れる さもなければ する
[H3389](#) [H3256](#) [H6435](#) [H3363](#) [H5315](#) [H6435](#)

שְׂמֹמָה אֶרֶץ לֹא נוֹשְׁבָהּ:
 荒廃と 地と ない 住む-者の
[H3427](#) [H3808](#) [H0776](#)

エルサレムよ、戒めを受けいれよ。さもないと、わたしはあなたから離れ、あなたを荒地とし、住む人のない地とする」。

9
 כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת עוֹלָלָה יְעוּלְלוּ שְׂאֲרֵית
 こう 言われた 主は 万軍の 念入りに-念入りに 摘み取れ ぶどうの-木の-ように 残りの-者を
[H3068](#) [H0559](#) [H3541](#) [H1612](#) [H1612](#) [H7611](#)

יִשְׂרָאֵל הָשֵׁב יָדְךָ עַל- סִלְסוֹלוֹת:
 イスラエルの 戻せ あなたの-手を に-向けて ぶどうを-摘む-者の-ように 枝々に
[H7725](#) [H3478](#) [H3027](#) [H1219](#) [H5552](#)

万軍の主はこう言われる、「ぶどうの残りを摘みとるように、イスラエルの残りの民をのこらず摘み取れ。ぶどうを摘みとる人のように、あなたの手をふたたびその枝に伸ばせ」。

10
 עַל- מִי אֲדַבְרָה וְאֶעֱדְרָה וְיִשְׁמְעוּ הִנֵּה עַרְלָה
 に-対して 誰に 語ろうか 語ろうか そして-警告しようか そして-聞くだろうか 見よ 割礼を-受けていない
[H1696](#) [H4310](#) [H2009](#) [H8085](#) [H6189](#)

אֲזַנָּם וְלֹא יוּכְלוּ לְהַקְשִׁיב הִנֵּה דְבַר- יְהוָה הָיָה לָהֶם
 その-耳は できない そして-ない 耳を-傾けることが 見よ 言葉は 主の なった 彼らにとって
[H3201](#) [H3808](#) [H2009](#) [H7181](#) [H1697](#) [H3068](#) [H1961](#)

לְחַרְפָּה לֹא יִחַפְצוּ- בּוֹ:
 そしりと ない 喜ばない それを
[H3808](#) [H2781](#)

わたしはだれに語り、だれを戒めて、聞かせようか。見よ、彼らの耳は閉ざされて、聞くことができない。見よ、彼らは主の言葉をあざけり、それを喜ばない。

11

וְאֵת	חַמַּת	וַיהוָה	מְלֵאתִי	נִלְאַתִּי	הִכִּיל	שָׁפַךְ	עַל-	עוֹלָלָא	בְּחוּז
だから	怒りで	主の	満ちた	疲れた	押さえることに	注げ	に-向けて	幼子に	外で
H0853	H2534	H3068	H4392	H3811	H3557	H8210		H5768	H2351

וְעַל	סוּד	בְּחוּרִים	יַחְדּוֹ	כִּי-	גַם-	אִישׁ	עַם-	אִשָּׁה	וְלִדְרוֹ
そして-に	集まりに	若者たちの	共に	まことに	また	男も	と-共に	女も	捕らえられる
	H5475	H0970			H1571	H0376		H0802	H3920

זְקֵן	עַם-	מְלֵא	יָמִים:
老人も	と-共に	年を-重ねた-者も	日々の
H2205		H4390	H3117

それゆえ、わたしの身には主の怒りが満ち、それを忍ぶのに、うみつかれている。「それをちまたにいる子供らと、集まっている若い人々とに漏らせ。夫も妻も、老いた人も、年のひじょうに進んだ人も捕えられ、

12

וְנִסְבוּ	בְּתֵיהֶם	לְאַחֵרִים	שָׂרוֹת	וְנָשִׁים	יַחְדּוֹ	כִּי-	אִמָּה	אֶת-
そして-移る	その-家々は	他人に	畑も	そして-妻も	共に	なぜなら	伸ばす	を
H5437	H0312			H0802			H5186	H0853

יָדִי	עַל-	יְשֻׁבֵי	הָאָרֶץ	נְאֻם-	יְהוָה:
わたしの-手を	に-向けて	住民に	その-地の	御告げ-である	主の
H3027		H3427	H0776	H5002	H3068

彼らの家と畑と妻とは共に他人に渡る。わたしが手を伸ばして、この地に住む者を撃つからである」と主は言われる。

13

כִּי	מִקְטָנָם	וְעַד-	גְּדוֹלָם	כָּלֹ	בוֹצֵעַ	בְּצַעַ
まことに	小さい-者から	そして-まで	大きな-者まで	すべてが	むさぼっている	利得を
		H5704		H3605	H1214	H1215

וּמְנַבִּיאַ	וְעַד-	כֹּהֵן	כָּלֹ	עֹשֶׂה	שִׁקְרַ:
そして-預言者から	そして-まで	祭司まで	すべてが	行っている	偽りを
H5030	H5704	H3548	H3605	H8267	

「それは彼らが、小さい者から大きい者まで、みな不正な利をむさぼり、また預言者から祭司にいたるまで、みな偽りを行っているからだ。

14

וַיִּרְפְּאוּ	אֶת-	שָׁבַר	עַמִּי	עַל-	נִקְלָה	לְאֹמֵר	וּשְׁלוֹם	שְׁלוֹם	וְאִין
そして-癒した	を	傷を	わが-民の	で	軽く	言って	平和と	平和	しかし-ない
H7495	H0853	H7667			H7043	H0559	H7965	H7965	H0369

שְׁלוֹם:
平和は
[H7965](#)

彼らは、手軽にわたしの民の傷をいやし、平安がないのに『平安、平安』と言っている。

15

הִבִּישׁוּ	כִּי	תוֹעֵבָה	עָשׂוּ	גַם-	בּוֹשׁ	לֹא-	יְבוֹשׁוּ	גַם-
恥じたか	なぜなら	忌まわしいことを	行った	しかし	恥じることを	ない	恥じない	また
H3001		H8441		H1571	H0954	H3808	H0954	H1571

הַכָּלִים	לֹא	יָדְעוּ	לָכֵן	יִפְּלוּ	בְּנִפְלִים	בְּעֵת-	פָּקְדֵי
赤面することを	ない	知らない	それゆえ	倒れる	倒れる-者と-共に	時に	わたしが-罰する
H3637	H3808	H3045		H5307	H5307	H6256	

יִכְשְׁלוּ	אָמַר	יְהוָה:	ס
つまり	言われた	主は	—
H3782	H0559	H3068	

彼らは憎むべきことをして、恥じたであろうか。すこしも恥ずかしいとは思わず、また恥じることを知らなかった。それゆえ彼らは倒れる者と共に倒れる。わたしが彼らを罰するとき、彼らは倒れる」と主は言われる。

16 כֹּה אָמַר יְהוָה עֲמֹדוֹ עַל-דְּרָכַי וּרְאוּ וּשְׂאוּ לְתַבּוֹת עוֹלָם
 こう 言われた 主は 立て 道に 見よ 尋ねよ 小道を 昔の
 H3541 H0559 H3068 H5975 H1870 H7200 H7592 H5769

אֵי-זֶה דֶּרֶךְ הַטּוֹב וְלִכְנֹ-בָהּ וּמִצְאֵוּ מִרְגֹעַ
 どこに あるか 道を 良い 歩め 見いだせ 安らぎを
 H0335 H2088 H1870 H3212 H4672 H4771

לִנְפֹשְׁכֶם וַיֹּאמְרוּ לֹא נִלְךְ:
 あなたの魂のための しかし-言った ない 歩かないと
 H5315 H0559 H3808 H3212

主はこう言われる、「あなたがたはわかれ道に立って、よく見、いにしへの道につき、良い道がどこかを尋ねて、その道に歩み、そしてあなたがたの魂のために、安息を得よ。しかし彼らは答えて、『われわれはその道に歩まない』と言った。

17 וַהֲקִמֹתִי עֲלֵיכֶם צַפִּים תִּקְשְׁבוּ לְקוֹל שׁוֹפָר וַיֹּאמְרוּ לֹא
 そして-立てた あなたがたの-上に 見張りを 耳を-傾けよ 音に 角笛の 音に 傾けよ 傾けよ
 H0335 H6822 H5181 H7782 H0559 H3808

וְנִקְשִׁיב:
 耳を-傾けないと
 H7181

わたしはあなたがたの上に見張びとを立て、『ラッパの音に気をつけよ』と言った。しかし彼らは答えて、『われわれは気をつけることはしない』と言った。

18 לָכֵן שָׁמְעוּ הַגּוֹיִם וַדְעִי עַדָּה אֵת-אֲשֶׁר-בְּמִם
 それゆえ 諸国民よ 聞け 会衆よ 知れ 彼らの中にあるか
 H8085 H3045 H5712 H0853

それゆえ国々の民よ、聞け。会衆よ、彼らにどのようなことが起るかを知れ。

19 שָׁמְעֵי הָאָרֶץ הִנֵּה אֲנִי מֵבִיא רַעָה אֶל-הָעַם הַזֶּה פְּרִי
 地よ 聞け 見よ わたしは もたらす わざわいを 向けて 民に この 実りを
 H8085 H0776 H2009 H0595 H0935 H0413 H2088 H6529

מִחֲשׁוֹבֹתַי מַהֲשׁוֹבוֹתַי עַל-דְּבָרֵי לֹא הִקְשִׁיבוּ וְתוֹרָתִי
 その-思いの なぜなら に わが-言葉に ない 耳を-傾けなかった 及び-律法を
 H4284 H1697 H3808 H7181 H8451

וַיִּמְאַסּוּ-בָהּ:
 それを 退けた
 H0335

地よ、聞け。見よ、わたしはこの民に災をくだす。それは彼らのたくらみの実である。彼らがわたしの言葉に気をつけず、わたしのおきてを捨てたからである。

20 לְמַה-זֶּה לִי לְבוֹנָה מִשְׁבָּא תְבוּאָה הַטּוֹב מֵאֶרֶץ מִרְחָק
 なぜ-これが わたしに 乳香が 来ても シェバから 良い 地から 遠い
 H4100 H2088 H3828 H7614 H0935 H7070 H0776 H4801

עֲלוֹתֵיכֶם לֹא לְרִצּוֹן וְזִבְחֵיכֶם לֹא-עָרְבוּ לִי:
 あなたの-燔祭は ない 喜ばれない 及び-ない ない わたしに
 H3808 H7522 H6149 H2077 H3808

シバから、わたしの所に乳香が来、遠い国から、菖蒲が来るのはなんのためか。あなたがたの燔祭はわたしには喜ばしくなく、あなたがたの犠牲もうれしくはない。

מְכַשְׁלִים מְכַשְׁלִים 21
 つまずきの-石を
 H4383

הַזֶּה הַזֶּה 21
 この
 H2088

הָעַם הָעַם 21
 民に
 H0413

אֶל- אֶל- 21
 に-対して
 H0413

נָתַן נָתַן 21
 置く
 H5414

הִנְנִי הִנְנִי 21
 見よ-わたしは
 H2009

יְהוָה יְהוָה 21
 主は
 H3068

אָמַר אָמַר 21
 言われた
 H0559

כֹּה כֹּה 21
 こう
 H3541

לָכֵן לָכֵן 21
 それゆえ

וְכַשְׁלוּ וְכַשְׁלוּ 21
 一 そして-つまずく
 H3782

כֹּם כֹּם 21
 一 それに
 H0001

אֲבוֹת אֲבוֹת 21
 父も
 H0001

וּבָנִים וּבָנִים 21
 一 そして-子も
 H0001

יַחְדָּו יַחְדָּו 21
 一 共に
 H7934

שָׁכַן שָׁכַן 21
 隣人も
 H7934

וְרֵעֵו וְרֵעֵו 21
 一 そして-その-友も
 H7453

יְאִבְדוּן יְאִבְדוּן 21
 一
 H0006

וְיִאָּבְדוּן וְיִאָּבְדוּן 21
 一
 H0006

וְיִאָּבְדוּן וְיִאָּבְדוּן 21
 一
 H0006

それゆえ主はこう言われる、『見よ、わたしはこの民の前につまずく石を置く、人々は父も子も共にそれにつまずき、隣り人もその友も滅びる』」。

יְעוֹר יְעוֹר 22
 奏り立つ
 H5782

גָּדוֹל גָּדוֹל 22
 大きな
 H5782

וְנָוִי וְנָוִי 22
 一 そして-国が
 H7453

צָפוֹן צָפוֹן 22
 北の
 H6828

מֵאֶרֶץ מֵאֶרֶץ 22
 地から
 H0776

בָּא בָּא 22
 来る
 H0935

עַם עַם 22
 民が
 H0935

הִנֵּה הִנֵּה 22
 見よ
 H2009

יְהוָה יְהוָה 22
 主は
 H3068

אָמַר אָמַר 22
 言われた
 H0559

כֹּה כֹּה 22
 こう
 H3541

מִן־רֶגֶל מִן־רֶגֶל 22
 地の
 H0776

מִן־רֶגֶל מִן־רֶגֶל 22
 果てから
 H3411

主はこう言われる、「見よ、民が北の国から来る、大いなる国民が地の果から興る。

קֶשֶׁת קֶשֶׁת 23
 弓と
 H7198

וְכִידוֹן וְכִידוֹן 23
 一 そして-槍を
 H3591

יַחְזִיקוּ יַחְזִיקוּ 23
 握る
 H2388

אֲכֹזְרֵי אֲכֹזְרֵי 23
 残忍で
 H0394

הוּא הוּא 23
 それは
 H1931

וְלֹא וְלֹא 23
 一 そして-ない
 H3808

יִרְחַמוּ יִרְחַמוּ 23
 一 憐れまない
 H7355

קוֹלָם קוֹלָם 23
 一 その-声は
 H7355

כַּיָּם כַּיָּם 23
 一 海の-ように
 H3220

יְהַלְמָה יְהַלְמָה 23
 一 轟く
 H1993

וְעַל- וְעַל- 23
 一 そして
 H1993

סוּסִים סוּסִים 23
 馬に
 H1993

יִרְכָּבוּ יִרְכָּבוּ 23
 一 乗る
 H7392

עָרוּךְ עָרוּךְ 23
 一 整えた
 H7392

כַּאֲשֶׁר כַּאֲשֶׁר 23
 一 戦士の-ように
 H0376

לְמַלְחָמָה לְמַלְחָמָה 23
 一 戦いの-ために
 H4421

עֲלֶיךָ עֲלֶיךָ 23
 一 あなたに-向かって
 H1323

בַּת- בַּת- 23
 一 娘よ
 H1323

צִיּוֹן צִיּוֹן 23
 一 シオンの
 H6726

彼らは弓とやりをとる。彼らは残忍で、あわれみがなく、海のような響きを立てる。シオンの娘よ、彼らは馬に乗り、いくさ人のように身をよろって、あなたを攻める」。

שָׁמְעוּ שָׁמְעוּ 24
 一 聞いた
 H8085

אֶת- אֶת- 24
 一 を
 H0853

שָׁמְעוּ שָׁמְעוּ 24
 一 その-噴を
 H8089

רָפוּ רָפוּ 24
 一 垂れた
 H7503

יָדֵינוּ יָדֵינוּ 24
 一 我々の-手は
 H3027

צָרָה צָרָה 24
 一 苦しみが
 H2388

הִחְזִיקְתָּנוּ הִחְזִיקְתָּנוּ 24
 一 捕らえた
 H2388

חֵיל חֵיל 24
 一 苦痛が
 H2388

כַּיּוֹלָדָה כַּיּוֹלָדָה 24
 一 産む-女の-ように
 H3205

われわれはそのうわさを聞いて、手は弱り、子を産む女に臨むような悩みと苦しみとに捕えられた。

אֶל- אֶל- 25
 一 ない
 H0408

יְצֵאוּן יְצֵאוּן 25
 一 出たは-ならない
 H3318

הַשָּׂדֶה הַשָּׂדֶה 25
 一 野に
 H3318

וּבְדֶרֶךְ וּבְדֶרֶךְ 25
 一 そして-道を
 H1870

אֶל- אֶל- 25
 一 ない
 H0408

תִּלְכִּין תִּלְכִּין 25
 一
 H3212

תִּלְכִּין תִּלְכִּין 25
 一 歩いては-ならない
 H1980

כִּי כִּי 25
 一 なぜなら
 H1980

חֶרֶב חֶרֶב 25
 一 敵の
 H0341

לְאֵיב לְאֵיב 25
 一 敵の
 H0341

מְנוֹר מְנוֹר 25
 一 恐怖が
 H4032

מִסְבִּיב מִסְבִּיב 25
 一 四方に
 H5439

畑に出たはならない、また道を歩いてはならない。敵はつるぎを持ち、恐れが四方にあるからだ。

עֲשֵׂי יַחִיד אֶבֶל בְּאָפֶר וְהִתְפַּלְּשִׁי שָׁק חֲגֹרִי עָמִי בֵּת 26
 して 独り子の 喪を 灰の中-に そして-轆れ 粗布を 身に-まとえ わが-民の 娘よ
[H3173](#) [H0060](#) [H0665](#) [H6428](#) [H8242](#) [H2296](#) [H1323](#)

עֲלֵינוּ: הַשָּׂדֶד יָבֵא פְתָאִם כִּי תִמְרוּרִים מִסָּפֵד לָד
 我々に 荒らす-者が 来る 突然に なぜなら 苦い 嘆きを あなたの-ために
[H7703](#) [H0935](#) [H6597](#) [H8563](#) [H4553](#)

わが民の娘よ、荒布を身にまとい、灰の中にもろび、ひとり子を失った時のように、悲しみ、いたく嘆け。滅ぼす者が、にわかになれわれを襲うからだ。

: דְּרָכָם: אֶת-וּבְחִנָּתָ וְתָדַע מִבְּצָר בְּעַמִּי נִתְיָוָה בְּחִוֹן 27
 その-道を を そして-試せ そして-知れ 砲台と わが-民の中-に わたしは-立てた 試す-者と
[H1870](#) [H0853](#) [H0974](#) [H3045](#) [H4013](#) [H5414](#) [H0969](#)

「わたしはあなたを民のうちに立てて、ためす者、試みる者とした。あなたが彼らの道を知り、それをためすことができるようにするためである。

כָּלָם וּבְרִזָּל נְחֹשֶׁת רְכִיל הֶלְכִי סוֹרְרִים סָרִי כָּלָם 28
 彼ら-すべては そして-鉄だ 銅と 中傷を 歩いている 反逆者だ 最も-頑々な 彼ら-すべては
[H3605](#) [H1270](#) [H7400](#) [H1980](#) [H5637](#) [H5493](#) [H3605](#)

הֵמָּה: מִשְׁחִיתִים
 彼らは 滅ぼす-者だ
[H1992](#) [H7843](#)

彼らはみな、強情な反逆者であって、歩きまわって人をそしる。彼らは青銅や鉄であって、みな卑しいことを行う。

צָרוּף צָרַף לְשׂוֹא עִפְרַת (תָּם) (מֵאֵשׁ) [מֵאֵשְׁתָּם] מִנְּפָח נָתַר 29
 精錬に-精錬したが 精錬した 空しく 鉛は 消えた 火に-よって ー ふいごは 焦げた
[H6884](#) [H6884](#) [H7723](#) [H5777](#) [H8552](#) [H0784](#) [H0800](#) [H4647](#) [H2787](#)

נִתְקָו: לֹא וְרָעִים
 取り-除かれない ない そして-悪い-者は
[H5423](#) [H3808](#)

ふいごは激しく吹き、鉛は火にとけて尽き、精錬はいたずらに進む。悪しき者がまだ除かれないからである。

פ: בָּהֶם: יְהוָה מָאֵס כִּי-לָהֶם קָרְאוּ נִמְאָס כֶּסֶף 30
 ー 彼らを 主が 退けた なぜなら 彼らは 呼ばれた 退けられた 捨てられた-銀と
[H3068](#) [H7121](#) [H3701](#)

主が彼らを捨てられたので、彼らは捨てられた銀と呼ばれる」。